

海蔵地区子ども会育成者連絡協議会

(通称：育成会)

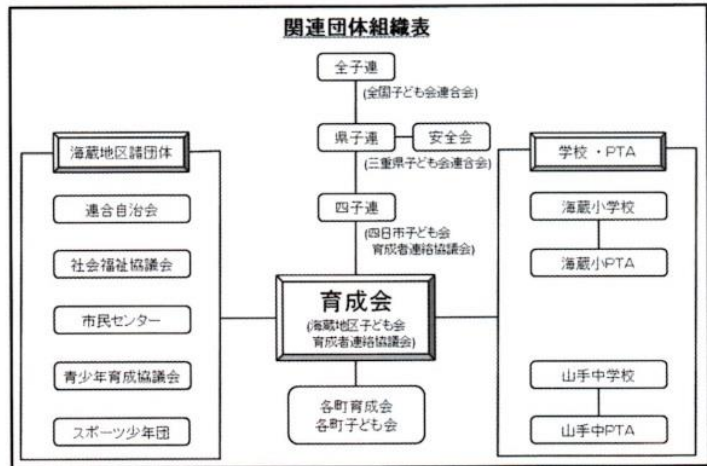
海蔵地区子ども会の連絡調整役。各町選出の役員によって組織し、各町育成会長・副会長等と共に研修会、講習会、野外活動等を行うことで、子ども会活動の育成をはかる事を目的とする組織です。昭和37年頃発足し（詳細年月は不明）、現在も地域の皆様に見守られながら、子ども達のすこやかな成長を願いつつ、活動を行っています。

■会員数：14地区606名（平成25年4月末日現在）

■構成役員（通称：本部役員）

海蔵地区の子ども会育成者によって構成される。各町、男性育成者1名を選出（任期3年）。また、子ども会入会世帯数が多い3町については、女性の育成者1名を選出（任期2年）。他、顧問1名。現在、14地区 計17名の本部役員で活動中。

※各行事には、各町会長、副会長他育成会役員OBの方々にもお手伝いをお願いしています。



「育成会総会要綱」より

■育成会活動実績（平成25年度実績）

4月 7日(日)：第52回 定期総会開催。

5月25日(土)：危険予知トレーニング (KYT) 研修。

1年間の活動を踏まえ、子ども達の安全を守るため、講師を招き、毎年実施。

6月 1日(土)：野外活動。バス8台を貸切り「ナガシマスパーランド」へ。総勢426名が参加。

7月27日(土)：「第52回海蔵地区球技大会」(町別対抗ドッチボール大会)。

男子10チーム117名、女子9チーム112名の会員が参加。熱戦を繰り広げました。男女の各優勝チームと2位の男女混合チームが「四日市子ども育成者連絡協議会」主催CTYカップへ出場。他地区の児童達とも戦いました。

10月12日(土)：「こどもまつり」開催。海蔵小学校体育館、校庭で、11のアトラクションと4種の屋台、それに外部団体の協力も得て、盛大に実施。まつり関係者を含め、児童、未就学児、保護者総勢611名が参加。「子どもが運営するまつり」として高学年がリーダーを務める。今年で8回目の開催。

これらの行事を実施するにあたり、月1～2回の定例会を開催し、どうすれば子ども達が安全にそして、楽しく過ごせるのかを話しあっています。また年度末には育成会だより「すこやか」を発行しています。

危険予知トレーニング (KYT) 研修
毎年実施



育成会だより
「すこやか」
年1回発行



シリーズ おばちゃま探検隊



育成会といえば、遠い記憶の中のソフトボールやフットベースボールの暑い日々なのですが、さてさて今はどんなことをやっているのかな？
10月12日(出)暑さを感じる素晴らしい良い天気。

年に1度のイベント「こどもまつり」をのぞいてみましたよ。

場所は海蔵小学校の校庭そして体育館

大勢の子ども達と保護者が校庭にずらりと並び、開会式の真っ最中。会長さんの挨拶が終わると早速始まったのは、実にさまざまなゲームでした。何と11種類も。たちまち会場は子ども達の笑顔と喚声で一杯に。ゲームを仕切るのは「こどもリーダー」と呼ばれる4、5、6年生の子ども達。下級生達を楽しませようと一生懸命な上級生達の表情がほほえましく、いいぞいいぞと思いながら見て回りました。参加者みんながとても楽しそうで、ゲームを待つ長い列、就学前の弟や妹が駆け回り、見守る笑顔のお母さん達、大賑わいでした。



体育館外のテントの下

こちらを上級生たちが、カレーライス、フランクフルト、みたらしだんご、チョコバナナクレープの屋台に頑張っています。みんなが首から下げている「参加パスポート」、スタンプ表がついていて次々と回って食べてはボン、とスタンプ係りさんに押しもらう。楽しかった！おいしかった！ごちそうさま！



校庭には「移動天文車きらら号」、「防災啓発車」、「消防車」の大きな姿が。天体望遠鏡をのぞく子、震度6ってどんなかなとちょっと不安そうに並んで待つ顔々、消防車による放水体験とこちらも充実していました。



「こどもまつり」は今年で8回目となるのだそうです。お世話なさっている役員さん、そしてOBの方達、とりわけお父さん達の協力が大きな力になっている行事だなと感じました。7月から準備を始めて、終了まで安全面への配慮も含めて大変だったことでしょう。その苦労も子ども達の楽しんでいる笑顔を見て報われたことと思います。子ども達にとっても、上級生と下級生の交流が出来て、共に楽しめてとても良い催しだと思いました。ゲーム、携帯、パソコンに気を奪われがちな昨今、みんなで元気に走り回っている子ども達の姿におばちゃま達は **ホッ!** と安心のひとときでした。